

地元産こまち使用 せんべい汁おいしい

五城目小、給食で提供



五城目町産のコメを使ったせんべい汁の給食が、五城目小学校で提供された。児童と教職員計295人がモチモチとした食感や焼き目の香ばしい味わいを楽しんだ。

町内の手焼きせんべい店「イトマン元気村」（伊藤萬治郎代表）が、同町馬場目地区のあきたこまちを原料に作った手焼きせんべい200枚

を無償で提供し、27日に振る舞われた。校内の給食室で調理された鶏肉やゴボウ、ニンジンなどが入った汁に砕いて入れて仕上げた。

給食の時間には、各学年の教室に「すごくおいしい」「もっと食べたい」という声が響いた。せんべい汁を真っ先に完食する児童もいて、大人気だった。

6年生の杉本優音奏さん（11）は「せんべいと汁が合っていて本当においしかった。家族にも食べさせてあげたい」と笑顔だった。

伊藤代表（86）は、五城目第一中学校のほか上小阿仁小・中学校にもせんべい汁の提供に無償で協力している。「できる限り活動を続け、よりたくさんの市町村の子どもたちにせんべいを味わってもらいたい」と語った。（菊地隆秀）

（令和5年7月3日（月）秋田魁新聞より一部抜粋）